学校番号	2003

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　大修館						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じ基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わり方を学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・主体的な授業参加を意識付け、積極的に体力と各種の技術を習得する。
・安全に留意し、相互協力し、効果的な学習を工夫し、計画立案できる。
・グループ活動を通して社会性をみにつける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組みを工夫できる。 運動を継続し、体力や技能向上をするための計画をたてることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活にいかせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身につける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、楽しさ、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート 授業ノート 等	授業ノート 等	技能観察 授業ノート 記録 等	授業ノート レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	体つくり運動　球技(ゴール型・ネット型・ベースボール型・その他の運動)　ダンス　武道	体つくりの運動 体ほぐしの運動 新体力テスト 体力を高める運動 球技 ゴール型 サッカー ハンドボール ネット型 バレーボール バドミントン テニス 卓球 ベースボール型 ソフトボール その他の運動 ターゲットバードゴルフ ダンス 創作ダンス 武道 柔道 球技・ダンス・武道の中から2種目選択	○	○	○	○	a:体作り運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとする。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 C:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能やイメージを深めた表現が身についている。 d:技術や名称、用語、表現の仕方など、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート 記録用紙
	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方	○	○		○	a:豊かなスポーツライフの設計の仕方について、活動を通して学習に主体的に取り組もうとしている。 b:豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分類したり、分析したりなどして、判断し、自らの言葉で説明している。 d:各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方や、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、理解したことを言ったり、書き出したりしている。	

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	体つくり運動 球技(ゴール型・ネット型・ベースボール型) ダンス 武道	体つくり運動 体ほぐしの運動 体力を高める運動 球技 ゴール型 サッカー ハンドボール バスケットボール ネット型 バドミントン テニス 卓球 ベースボール型 ソフトボール ダンス 創作ダンス 武道 柔道 球技・ダンス・武道の中から 2種目選択	○	○	○	○	a:体作り運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとする。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 C:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能やイメージを深めた表現が身についている。 d:技術や名称、用語、表現の仕方など、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート 記録用紙
	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方	○	○		○	a:豊かなスポーツライフの設計の仕方について、活動を通して学習に主体的に取り組もうとしている。 b:豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分類したり、分析したりなどして、判断し、自らの言葉で説明している。 d:各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方や、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、理解したことを言ったり、書き出したりしている。	